



緑の園



3月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより

第105号

令和7年3月1日発行



Deep Purple/Come Tast The Band(1975)

## 車いす貸し出しサービスのご案内

養護老人ホーム緑の園と地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザでは今月の1日より「車いす貸し出しサービス」を行うこととなりました。

緑の園とグリーンプラザの両施設で保有している車いすで余裕がある場合に地域の方々にご利用していただくという取り組みです。

このサービスは「一時的に車いすを必要とされる方に短期的に貸出する」サービスです。

けがや病気などで自分で歩くことが困難なとき歩けるようになるまでの間使いたい、介護保険の車いす貸し出しサービス利用開始までの間や旅行・外出等で使いたいといった短い期間車いすを必要とする場合にご利用いただければと考えております。

この「車いす貸し出しサービス」は社会福祉法人丸瀬布社会福祉協会の地域貢献事業として新たに始める事業です。

貸し出しには車いすの受け取りと返却の際施設までお越しいただくことが貸し出しの条件となりますが利用に係る料金はいただきません。

「車いす貸し出しサービス」のご利用につきましては申込書へのご記入等ご協力いただきたいことがいくつかございますので直接施設までお問合せください。



ご連絡先と貸し出し・返却場所は養護老人ホーム緑の園又は地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザです。

電話番号は0158-47-2160(養護老人ホーム緑の園)

社会福祉法人丸瀬布社会福祉協会の地域貢献事業ですので皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。



心温まるご寄付ありがとうございます。  
ごさいます。



先月社会福祉法人丸瀬布社会福祉協会へご寄付を賜りましたのでご紹介いたしますとともに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

遠軽町丸瀬布西町  
市原 勇 様

遠軽町丸瀬布水谷  
柳瀬 正子 様



## 先月の出来事を紹介いたします。

知らなかったのは私だけだったかかもですが、今年の節分は2月2日でした。

これは2月3日が立春だったためだそうで意外なところが例年と違う節分だったようです。

先月の施設だよりで紹介させていただいたとおりに法人

のそれぞれの施設で節分豆まきを行いました。

個人的なことですが、緑の園とグリーンプラザの「鬼役」を拝命いたしました。

皆さんどうしたことが、ニコニコしながらこの時とばかりに私にむかって豆のようなお手玉(?)をぶつけてくるではありませんか、意外に痛かったです。(加減なくぶつけられました…。)

表情からも見て取れるように参加された方々は皆さん楽しそうでした。

少しずつではありますが季節の行事だったり、日常的な取り組みがもとに戻りつつあります。

いろいろなことが変わってしまった現在のどの程度戻るかにはわかりませんが集まってワイワイ過ごすことはやっぱり楽しいですよ。(一人でいるのもいいけど、ずっと一人はさみしすぎます)

※「せつぶん」と入力すると「拙文」とパソコンに変換されました。ダメ文章といわれてるみたいで少し悲しかったです。

また、ヒルトップハイツでは施設の都合で少し遅くなりましたが19日に、デイサービスでは3日から7日にかけて豆まきを行いました。

楽しそうに皆さん豆まきに興じておられました。

その他、ヒルトップハイツにて26日の水曜日に夜間想定の大規模訓練を実施しました。(緑の園とグリーンプラザにつきましては3月に実施予定です)

また、緑の園では15日に木暮商店さんにお越しいただき売店を開催いたしました。



## 今月の予定を紹介いたします。

今月の予定を紹介いたします。

まずはデイサービスセンターですが3日から7日まで「ひな祭り」を行います。

次に緑の園とグリーンプラザでは職員研修を28日の金曜日午後5時30分ころから「感染症対策(仮称)の実践」について新型コロナウイルス感染症が5類へと移行した現在における「標準対応」と「(感染が発症した場合等の)



緊急時における対応」についてJA北海道厚生連遠軽厚生病院 感染管理認定看護師の山澤由香里様にお越しいただきご講義を賜る予定となっております。



今月もどうぞよろしく  
お願いいたします。



いよいよ暦は3月弥生です。

今年の丸瀬布は先月下旬まで異常とも思えるほど雪が少なかったですが、帳尻はしっかり合わせられたような気がしますけど、例年に比べれば少ないみたいです。

確実に冬の中身?は変化してきているように感じます。

さて、今年は「介護保険制度」が始まってから25年になります。(平成12年4月から始まりました)

制度が始まる少し前の平成10年(1998年)、「模擬介護認定審査会」が開催されました。

当時私(おばら)は清里町の特養に勤務しておりましたがこの会議に出席を求められました。(審査会委員として)

まだ、町村合併する前でしたので1市(網走市)4町(斜里、清里、小清水、常呂)そして1村(東藻琴)の合議体で自治体からの推薦を受けた介護認定審査会の委員で構成されておりました。

その模擬審査会はそれぞれの市町村に所属する介護保険担当職員の前で会の運営方法、資料の作成、議事の進め方等の検討のため参集し開催されましたが網走市の医師会から2人、網走市の歯科医師会から1人、同じく薬剤師会から1人、福祉関係者として網走社協の局長さんと私の2人の計6人の構成でした。

私以外の皆さんは網走市推薦なのに町村推薦は私だけだったり、「長」のつく方ばかりなのに私一人だけ「相談員」で呼ばれたのと少しばかり場違い感もありましたが新しい制度への期待と熱気?はありました。

介護保険は始まる2年以上も前からすでに始まっていたんですよ、今月もどうぞよろしく。(おばら)

